

(別紙5)

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 26-2-015
補助事業名 平成26年度 お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動補助事業
補助事業者名 社会福祉法人パール

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

社会福祉活動教育研究所は各種の福祉活動開始から38周年を迎えました。その相談室は、高齢者の福祉の増進を目的とし、経験を積んだ相談員と医師・看護師・弁護士・理学療法士・心理学者等と連携し対応してきました。現在の公的福祉サービス等の対応では解決できない精神的・経済的問題、複雑化した人間関係の悩みや障害者の諸問題など生活全般に及んでいます。高齢者・障害者の一人でも多くの人々が、この相談事業と介護予防教室を活用し、お年寄りが幸せに暮らせる地域社会づくりをしていきたいと思えます。

(2) 実施内容

相談事業<http://www.shibuya-pearl.or.jp/service/pub.html#labo> (URL)

1. 電話相談

専門相談員による相談を受ける。相談内容によっては継続してカウンセリングを行い、面接相談の必要があるときは関連機関への紹介・連絡調整を行なう。

2. 面接相談

必要に応じて来所者の面接相談を受ける。相談ケースによってカウンセリング面接指導を継続して行い、内容により関係機関への紹介などの専門職と連携して指導を行なう。

3. 専門相談

医師、弁護士、学術経験者・ケースワーカー等による専門家の立場での助言相談日を設ける出来る限り自立生活が可能となるように具体的な援助を行なう。

4. 介護予防教室

理学療法士の指導のもと筋力低下やバランス感覚の鈍磨による転倒を防ぐため、転倒・骨折予防筋力トレーニングを行なう。また頭の体操として脳トレーニング、管理栄養士による食事や栄養の情報提供を行なう。

5. 「あなたの相談室Q&A」を発行

同じような問題を抱える人々や一般の人々にも広く、具体的に情報を提供し日常生活のQOLの向上に努める。問題解決のための参考知識として「あなたの相談室Q&A」を報告書として発行している。



リハビリ体操の様子

2 予想される事業実施効果

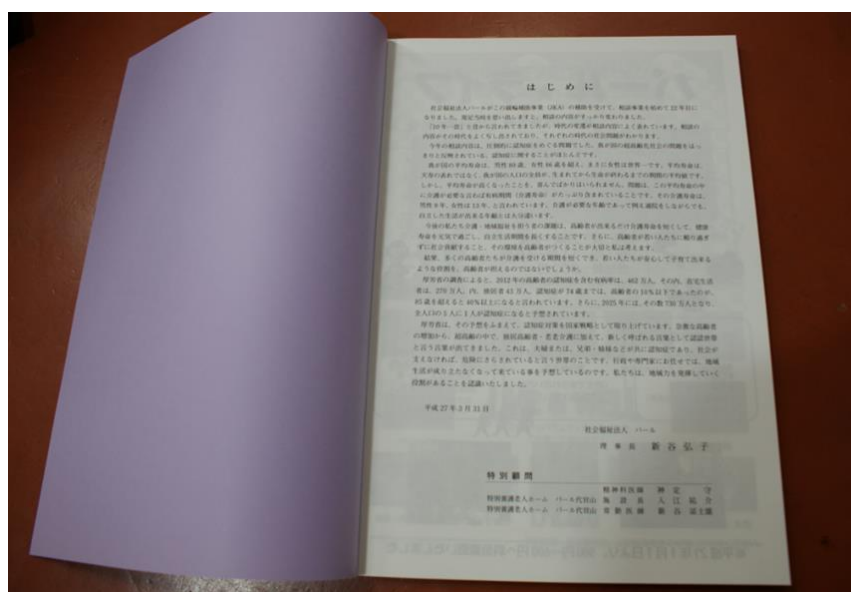
核家族化や少子化による在宅高齢者のニーズが増加し、孤独に暮らす高齢者や障害者の方が社会で生活する中で、安心して自立生活ができるよう身近にいつでも気軽に相談できる場所が大切です。相談内容が複雑化していることがあり、精神的・経済的な問題と絡み合っていることがたくさんあります。経験豊かな相談員がその都度熱心に対応し問題解決へと導きました。相談件数も大幅にあることから相談ニーズに応えやすい条件整備は福祉事業の重要な役割であると考えます。

介護予防教室は毎週開催するなかで様々なテーマに取り組んでおり、太極拳体験、料理教室、アニマルセラピー、音楽レクリエーション等を始め大変好評を頂いております。

この相談事業と介護予防教室により一人でも多くのお年寄りが元気で幸せに地域で自立生活ができるよう、また幅広く地域交流がなされる効果が期待できます。

3 本事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの



(別紙5)



(2) (1) 以外で当事業において作成したもの
該当なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 社会福祉法人 パール

住 所： 〒150-0035

東京都渋谷区鉢山町3-27

代 表 者： 理事長 新谷 弘子 (シンタニ ヒロコ)

担 当 部 署： 社会福祉活動教育研究所

担 当 者 名： 事務長 渡邊 一司 (ワタナベ ヒトシ)

電 話 番 号： 03-5458-4811

F A X： 03-5458-4817

E - m a i l： jimu@shibuya-pearl.or.jp

U R L： <http://www.shibuya-pearl.or.jp/index.html>